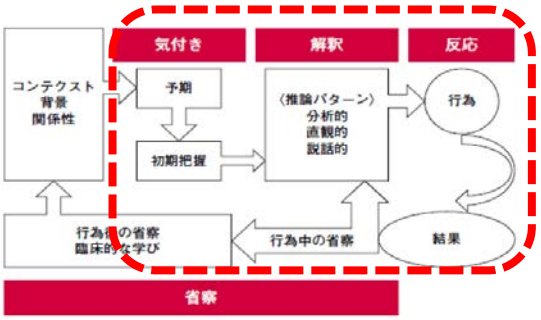
ひよっこれぽ

【患者の状態観察と報告研修～看護師としての思考力を磨こう！～】

2020年6月2日・22日・29日に、新人看護師を対象として研修を開催し、74名が参加しました。

【目的】
・患者の状態に合わせた観察と報告ができる
【目標】
1. 情報収集し、患者状態が予測できる
2. 患者状態をアセスメントできる
3. 患者の観察ができる
4. PNSパートナーに自分の考え（アセスメント）を報告できる



●研修内容●

看護師としての思考をトレーニング！

演習1．情報収集

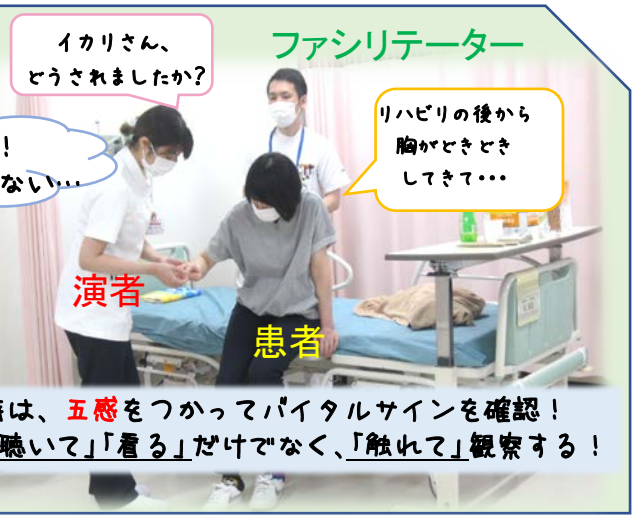
どのような患者か、
何が起こると予測されるか、
必要な観察項目は何か

患者の状態変化に「気付く」ために，情報収集をおこなった。臨床像を全体的に把握するために、これまでの状況がどうであり、今後どうなっていくのかを予測した。

演習2．患者対応（ナースコール）

何が起きてる？（アセスメント）
他に必要な観察は？
どうやって？(方法)
何から？(優先順位)

バイタル測定したい！
でも道具が手元にない…



事前の予測を踏まえて、摸擬患者の対応をおこない、状況理解をさらに深めた。患者に何が起きているか、どのような対応（看護実践）が必要か省察しながら、解釈と行為を繰り返し行った。

そんな時は、五感をつかってバイタルサインを確認！
患者を「聴いて」「看る」だけでなく、「触れて」観察する！

演習3．患者対応→報告

どのような報告がよいか？
（どんな配慮が必要か？）

I-SBAR-Cを意識して分かりやすく先輩に報告し応援を要請した。
緊急時は患者の側を離れず、PHSやナースコールで患者の状況に応じた連絡を行った。

●アンケート●

グループで話すことで学びが深められた。楽しく学び考えることができた。
自分で考えてアセスメントしてそれに対するフィードバックがあってよかった。
演習形式で身につけやすかった。

【臨床判断モデル】

「臨床判断モデル」とは，臨床の場における看護師の思考を表現したもの。米国オレゴンヘルスサイエンス大学（OHSU）看護学部前学部長であるクリスティーン・タナー氏によって提唱された。

●部署の皆様へ●

臨床判断モデルは実際の看護師の思考を反映していると言われています。思考は見たり聞いたりすることができません。
先輩が、自分の「気付き」や「解釈」のプロセスを言語化して伝えることでも新人看護師の学びに繋がります。また実践や判断理由を確認することで、新人看護師が何につまづいているかを分析することができ、効果的に介入ができます。ぜひ実践の背景を新人看護師と語り合って伝えて下さい。また、報・連・相がしやすい雰囲気づくり、皆さんからの声掛けも患者に安全な看護を提供するうえで大切です♪

作成者：看護キャリア開発室　三浦 哲